

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 北海道財務局長

【提出日】 平成25年9月24日

【四半期会計期間】 第32期第2四半期(自平成25年5月16日 至平成25年8月15日)

【会社名】 株式会社サッポロドラッグストア

【英訳名】 S A P P O R O D R U G S T O R E C O . , L T D .

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 富山 睦 浩

【本店の所在の場所】 札幌市北区太平三条一丁目2番18号

【電話番号】 011-771-8100 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 高野 徹 朗

【最寄りの連絡場所】 札幌市北区太平三条一丁目2番18号

【電話番号】 011-771-8100 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 高野 徹 朗

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
証券会員制法人札幌証券取引所
(札幌市中央区南一条西五丁目14番地の1)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第31期 第2四半期連結 累計期間	第32期 第2四半期連結 累計期間	第31期
会計期間		自 平成24年2月16日 至 平成24年8月15日	自 平成25年2月16日 至 平成25年8月15日	自 平成24年2月16日 至 平成25年2月15日
売上高	(千円)	23,562,396	24,370,165	46,868,991
経常利益	(千円)	561,413	519,915	1,125,857
四半期(当期)純利益	(千円)	295,516	306,735	578,191
四半期包括利益又は 包括利益	(千円)	295,825	307,477	579,830
純資産額	(千円)	4,342,059	4,843,598	4,626,064
総資産額	(千円)	19,655,753	21,671,782	20,022,804
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	76.66	79.57	150.00
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	22.1	22.3	23.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,163,132	1,087,381	1,246,370
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	449,619	837,123	1,431,641
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,021,017	40,302	151,935
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	941,639	1,202,497	911,936

回次		第31期 第2四半期 連結会計期間	第32期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年5月16日 至 平成24年8月15日	自 平成25年5月16日 至 平成25年8月15日
1株当たり四半期 純利益金額	(円)	57.72	58.43

- (注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
 2. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 4. 当社は、平成25年8月16日付で普通株式1株につき普通株式3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成25年2月16日～平成25年8月15日）におけるわが国経済は、平成24年12月の政権交代後の経済政策（いわゆるアベノミクス）により円安・株高が進み、日本経済は全体として景気回復に向けた動きが見受けられ、個人消費も消費マインドの改善により一部回復の兆しが現われております。

しかしながら、企業の設備投資や個人の所得は未だ低迷したままであり、先行きの景気回復については依然として不透明な状況で推移しました。

ドラッグストア業界におきましても、消費者の節約志向と小売業全体での業種・業態を超えた激しい競争など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、「健康で明るい社会の実現に貢献する」を経営理念に掲げ、ドラッグストア事業、調剤薬局事業、その他事業を展開しており、当第2四半期連結累計期間におきましては、ドラッグストア4店舗を新たに开店する一方、経営効率化の観点からドラッグストア1店舗を閉店し、平成25年8月15日現在の店舗数は138店舗（ドラッグストア128店舗、調剤薬局10店舗）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(ドラッグストア事業)

ドラッグストア事業におきましては、お客様に選ばれる店づくりの一環として、店舗の利便性向上を図るため、ホームケアでの品揃えの拡大を積極的に行う一方、新たに営業時間の延長を14店舗で実施するとともに、お客様に満足いただけるサービスを提供するための従業員教育を継続して積極的に取り組みました。

販売面では、競合店対策としての積極的な販売促進に加え、エブリデー・セイム・ロープライスの実現を目指した定番価格の見直しや月間特売価格の拡充を行い、毎日安心してお買い物いただけることによる、新規顧客の増加とリピーターの確保に努めました。

コスト面では、ローコスト運営を推進するため、物流センターの利用促進による物流コスト及び事務コストの軽減を図る一方、当社グループが今後とも継続的に成長し続けるため、新規开店にかかわる投資を行うほか、さらなる新規开店に備えた人員の確保、従業員の長期的成長を図る研修プログラムの実施を積極的に推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は234億17百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は4億42百万円（同12.2%減）となりました。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、前連結会計年度での2店舗の閉店や平成24年4月の薬価改定等の影響などにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は8億79百万円（前年同期比13.9%減）、営業利益は54百万円（同21.9%増）となりました。

(その他)

不動産賃貸業が主たる事業である、その他事業は、当第2四半期連結累計期間の売上高は73百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は25百万円（同15.4%増）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は243億70百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は5億22百万円（同8.4%減）、経常利益は5億19百万円（同7.4%減）、四半期純利益は3億6百万円（同3.8%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、216億71百万円となり、前連結会計年度末に比べて16億48百万円増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が2億90百万円、商品が3億70百万円、建物及び構築物（純額）が3億94百万円、土地が2億22百万円、その他（投資その他の資産）が1億52百万円増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、168億28百万円となり、前連結会計年度末に比べて14億31百万円増加となりました。その主な要因は、買掛金が10億47百万円、長期借入金が2億22百万円増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、48億43百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億17百万円増加となりました。その主な要因は、配当金の支払により89百万円減少したものの、利益剰余金が四半期純利益により3億6百万円増加したことなどによります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて2億90百万円増加し、12億2百万円になりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の獲得額は10億87百万円であり、前第2四半期連結累計期間に比べて75百万円減少しました。その主な要因は、前第2四半期連結累計期間に比べ、仕入債務の増加額が1億98百万円増加したものの、たな卸資産の増加額が1億95百万円、売上債権の増加額が54百万円それぞれ増加したことなどによります。

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出額は8億37百万円であり、前第2四半期連結累計期間に比べて3億87百万円増加しました。その主な要因は、前第2四半期連結累計期間に比べ、有形固定資産の取得による支出が4億6百万円増加したことなどによります。

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の獲得額は40百万円（前第2四半期は10億21百万円の支出）でありました。その主な要因は、前第2四半期連結累計期間に比べ、長期借入金の返済による支出が89百万円増加したものの、短期借入金の純増額が5億50百万円、長期借入による収入が6億円それぞれ増加したことなどによります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,944,000
計	4,944,000

(注) 平成25年7月12日開催の取締役会決議により、平成25年8月16日付で株式分割に伴う定款変更が行われ、発行可能株式総数は、9,888,000株増加し、14,832,000株となっております。

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年8月15日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年9月24日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,334,000	4,002,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) 札幌証券取引所	単元株式数は100株であります。
計	1,334,000	4,002,000		

(注) 平成25年7月12日開催の取締役会決議により、平成25年8月16日付で1株を3株に株式分割いたしました。これにより株式数は2,668,000株増加し、発行済株式総数は4,002,000株となっております。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年5月16日～ 平成25年8月15日		1,334,000		439,589		481,788

(注) 平成25年8月16日付で1株を3株に株式分割しており、これにより株式数は2,668,000株増加し、発行済株式総数は4,002,000株となっております。

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月15日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社トミーコーポレーション	札幌市北区太平三条4丁目1-1	461,000	34.56
ビービーエイチ ファイデリティ ピュアリティ ファイデリティ シリーズ インタリシツク オポチュニティズ ファンド (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	82 DEVONSHIRE ST BOSTON MASSACHUSETTS 02109360582(東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	106,700	8.00
株式会社北海道銀行	札幌市中央区大通西4丁目1番地	63,200	4.74
株式会社北洋銀行	札幌市中央区大通西3丁目7	60,000	4.50
S D S従業員持株会	札幌市北区太平三条1丁目2-18	46,700	3.50
富山 睦浩	札幌市北区	39,000	2.92
富山 光恵	札幌市北区	39,000	2.92
富山 浩樹	札幌市北区	39,000	2.92
株式会社Paltac	大阪市中央区本町橋2-46	20,000	1.50
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番10号	15,700	1.18
計		890,300	66.74

- (注) 1.上記のほか、自己株式が49,100株(3.68%)あります。
2.平成25年8月16日付で、1株につき3株の株式分割を行っております。
3.エフエムアール エルエルシー(FMR LLC)から平成25年8月22日付の大量保有報告書の提出があり、平成25年8月15日現在で321,500株を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況は株主名簿の記載内容に基づき記載しております。

エフエムアール エルエルシー(FMR LLC)の大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数(株)	株券等保有割合(%)
エフエムアール エルエルシー(FMR LLC)	米国02210マサチューセッツ州ボストン、サマー・ストリート245 (245Summer Street, Boston, Massachusetts 02210, USA)	321,500	8.03

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月15日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 49,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,284,200	12,842	
単元未満株式	普通株式 700		
発行済株式総数	1,334,000		
総株主の議決権		12,842	

(注) 平成25年8月16日付で、1株につき3株の株式分割を行っております。

【自己株式等】

平成25年8月15日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式 割合(%)
株式会社サッポロドラッグストア	札幌市北区太平三条一丁目2番18号	49,100		49,100	3.68
計		49,100		49,100	3.68

(注) 平成25年8月16日付で、1株につき3株の株式分割を行っております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年5月16日から平成25年8月15日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年2月16日から平成25年8月15日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	911,936	1,202,497
売掛金	415,468	465,160
商品	5,104,099	5,474,898
貯蔵品	13,011	18,745
繰延税金資産	192,014	192,014
その他	596,311	680,918
流動資産合計	7,232,842	8,034,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,031,516	3,426,503
土地	4,875,818	5,098,013
その他(純額)	1,324,020	1,390,254
有形固定資産合計	9,231,355	9,914,771
無形固定資産	96,471	98,362
投資その他の資産		
その他	3,489,397	3,641,914
貸倒引当金	27,262	17,500
投資その他の資産合計	3,462,135	3,624,414
固定資産合計	12,789,962	13,637,548
資産合計	20,022,804	21,671,782
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,434,200	5,481,209
短期借入金	1,450,000	1,550,000
1年内返済予定の長期借入金	1,999,757	1,877,268
未払法人税等	261,535	225,169
賞与引当金	199,521	207,424
ポイント引当金	97,100	105,100
その他	1,084,120	1,250,333
流動負債合計	9,526,234	10,696,504
固定負債		
長期借入金	4,564,600	4,786,675
退職給付引当金	180,611	192,679
役員退職慰労引当金	79,791	79,791
資産除去債務	154,257	180,417
その他	891,245	892,116
固定負債合計	5,870,505	6,131,679
負債合計	15,396,740	16,828,183

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	439,589	439,589
資本剰余金	481,788	481,788
利益剰余金	3,763,404	3,980,196
自己株式	60,533	60,533
株主資本合計	4,624,249	4,841,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,814	2,556
その他の包括利益累計額合計	1,814	2,556
純資産合計	4,626,064	4,843,598
負債純資産合計	20,022,804	21,671,782

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年8月15日)
売上高	23,562,396	24,370,165
売上原価	18,037,512	18,752,006
売上総利益	5,524,884	5,618,158
販売費及び一般管理費	4,954,580	5,095,920
営業利益	570,303	522,238
営業外収益		
受取利息	757	757
受取配当金	898	907
受取手数料	6,833	8,215
固定資産受贈益	10,628	21,246
その他	34,271	23,822
営業外収益合計	53,390	54,950
営業外費用		
支払利息	54,328	48,250
その他	7,952	9,022
営業外費用合計	62,280	57,273
経常利益	561,413	519,915
特別損失		
店舗閉鎖損失	20,040	5,000
火災損失	19,258	-
特別損失合計	39,298	5,000
税金等調整前四半期純利益	522,114	514,915
法人税等合計	226,597	208,180
少数株主損益調整前四半期純利益	295,516	306,735
四半期純利益	295,516	306,735

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年8月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	295,516	306,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	308	742
その他の包括利益合計	308	742
四半期包括利益	295,825	307,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,825	307,477
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年8月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	522,114	514,915
減価償却費	283,672	293,522
賞与引当金の増減額(は減少)	14,552	7,903
退職給付引当金の増減額(は減少)	10,317	12,068
ポイント引当金の増減額(は減少)	7,160	8,000
受取利息及び受取配当金	1,656	1,665
固定資産受贈益	10,628	21,246
支払利息	54,328	48,250
売上債権の増減額(は増加)	4,530	49,691
たな卸資産の増減額(は増加)	180,652	376,533
仕入債務の増減額(は減少)	848,034	1,047,008
未払消費税等の増減額(は減少)	19,556	1,480
その他	31,995	35,482
小計	1,564,211	1,445,568
利息及び配当金の受取額	1,656	1,665
利息の支払額	55,580	49,963
法人税等の支払額	347,154	309,888
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,163,132	1,087,381
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	-	100
有形固定資産の取得による支出	308,694	715,012
無形固定資産の取得による支出	19,782	17,295
敷金及び保証金の差入による支出	206,388	252,279
敷金及び保証金の回収による収入	87,935	90,283
預り保証金の受入による収入	22,056	59,500
預り保証金の返還による支出	24,746	2,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	449,619	837,123
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	450,000	100,000
長期借入れによる収入	700,000	1,300,000
長期借入金の返済による支出	1,110,684	1,200,414
配当金の支払額	89,659	89,793
その他	70,673	69,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,021,017	40,302
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	307,504	290,560
現金及び現金同等物の期首残高	1,249,143	911,936
現金及び現金同等物の四半期末残高	941,639	1,202,497

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月16日 至 平成25年8月15日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年2月16日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月16日 至 平成25年8月15日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月16日 至 平成25年8月15日)
給与及び諸手当	1,787,215千円	1,864,291千円
賞与引当金繰入額	265,650千円	273,204千円
退職給付費用	23,983千円	25,816千円
減価償却費	269,438千円	278,064千円
地代家賃	829,774千円	856,269千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月16日 至 平成25年8月15日)
	(平成24年8月15日現在)	(平成25年8月15日現在)
現金及び預金勘定	941,639千円	1,202,497千円
現金及び現金同等物	941,639千円	1,202,497千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年2月16日 至 平成24年8月15日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月11日 定時株主総会	普通株式	89,943	70	平成24年2月15日	平成24年5月14日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年2月16日 至 平成25年8月15日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月10日 定時株主総会	普通株式	89,943	70	平成25年2月15日	平成25年5月13日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月16日 至 平成24年8月15日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ドラッグストア 事業	調剤薬局事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,472,375	1,021,557	23,493,932	68,464	23,562,396
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	22,472,375	1,021,557	23,493,932	68,464	23,562,396
セグメント利益	503,546	44,809	548,356	21,947	570,303

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	548,356
「その他」の区分の利益	21,947
四半期連結損益計算書の営業利益	570,303

当第2四半期連結累計期間(自平成25年2月16日 至 平成25年8月15日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ドラッグストア 事業	調剤薬局事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,417,355	879,536	24,296,891	73,273	24,370,165
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	23,417,355	879,536	24,296,891	73,273	24,370,165
セグメント利益	442,307	54,605	496,912	25,325	522,238

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	496,912
「その他」の区分の利益	25,325
四半期連結損益計算書の営業利益	522,238

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年8月15日)
1株当たり四半期純利益金額	76.66円	79.57円
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	295,516	306,735
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	295,516	306,735
期中平均株式数(株)	3,854,700	3,854,700

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、平成25年8月16日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しています。

(重要な後発事象)

当社は、平成25年7月12日開催の取締役会決議に基づき、当社株式の流動性向上と投資家層拡大を図ることを目的とし、次の株式分割を行っております。

- 株式分割の割合及び時期：平成25年8月16日付をもって平成25年8月15日の株主名簿に記録された株主の所有株式数1株につき3株の割合をもって分割する。
- 分割により増加する株式数 普通株式2,668,000株
- 1株当たり情報に及ぼす影響は、(1株当たり情報)に反映されております。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年9月24日

株式会社サッポロドラッグストア
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 坂 野 健 弥 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 板 垣 博 靖 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サッポロドラッグストアの平成25年2月16日から平成26年2月15日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年5月16日から平成25年8月15日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年2月16日から平成25年8月15日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サッポロドラッグストア及び連結子会社の平成25年8月15日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

